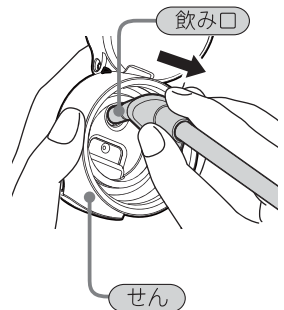


せんパッキン・飲み口・ストローのはずし方

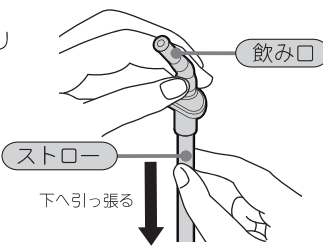
飲み口のはずし方

ふたを開けた状態で、せんから飲み口を矢印の方向へ引き抜く。



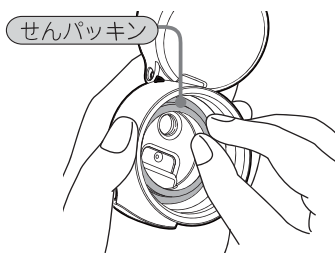
ストロー・飲み口のはずし方

飲み口を持ちストローを下へ引っ張り引き抜く。



パッキンのはずし方

パッキンをつかみ、取りはずす。



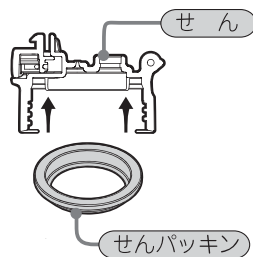
パッキン・飲み口・ストローの取り付け方

正しく取り付けられていないと、もれの原因になります。

お手入れなどで、せんパッキン・飲み口・ストローを取りはずした後は、次の内容を読んで正しく取り付けます。

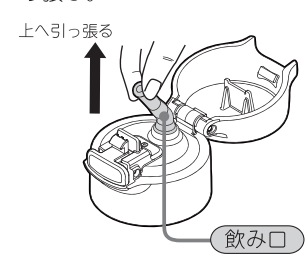
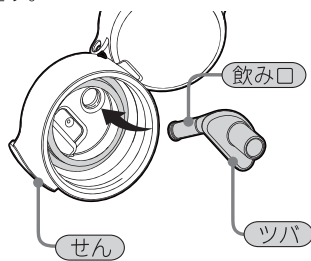
せんパッキンの取り付け方

せんにはめ込み、指でまんべんなく押さえ、浮いていないことを確かめる。

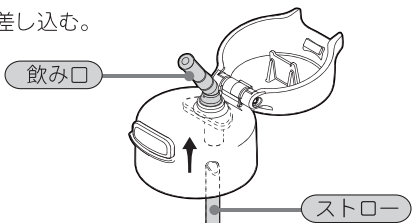


飲み口・ストローの取り付け方

- ①せんと飲み口のツバ位置を合わせ、飲み口の先端をせんの下から穴に通す。
- ②せんと飲み口のツバとのすきまができないように、飲み口を引っ張る。



- ③飲み口にストローを差し込む。



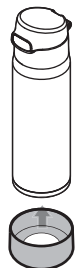
※正しく取り付けないと、飲みものもれの原因となります。

底カバーの取り付け方

底カバーの取り付け方 ※APA-Rのみ

底カバーをびん底に合わせてしっかりと取りつける。

※取りつける時は十分乾燥させてからおこなってください。サビや底カバーの抜け落ちによるけが、やけど、破損などの原因になります。



修理を依頼される前に

次の項目について点検をおこなってください。いずれの場合もあてはまらない場合は、お客様相談窓口へご相談ください。

症状	点検するところ	処置
■ふた・せんからもれる	せんパッキン・飲み口・ストローが正しく、しっかり取り付けられていますか。	せんパッキン・飲み口・ストローの取り付け位置や方向、浮きがないことを確認してください。
	せんパッキン・飲み口・ストローが汚れていませんか。	「お手入れの方法」を参考にし、お手入れをしてください。
	飲みものを入れすぎていませんか。	少量の飲みものを減らしてください。
■飲みもの(本体内側・せん)がにおう	飲みものを長時間入れたままにしたり、本体内側、せんユニットやパッキンに茶しぶなどの汚れが付着していませんか。	「お手入れの方法」を参考にし、お手入れをしてください。汚れが落ちにくい場合はクエン酸をご利用ください。
	十分に冷たい飲みものを入れていませんか。	十分に冷たい飲みものを正しい量まで入れてください。
■保冷が効かない	飲みものの量が少なすぎませんか。	氷をたくさん入れたり、飲みものの量を多くすると効果的です。

※せんユニット・せんパッキン・飲み口・ストローは消耗品です。使用後半年から1年を目安にご確認ください。

アフターサービス部品について

本取扱説明書に記載されている製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後5年となっております。その他、製品に関してのお問い合わせにつきましては、お買上げの販売店もしくはピーコック魔法瓶工業(株)のお客様相談窓口にてご相談ください。

消耗部品のご購入について

製品型名・容量・色柄・部品の正しい名称をご確認のうえ、下記方法でお求めください。(製品型名は製品底面に貼ってあるシールに記載されています。)

- ①ホームページ……トップページの交換用部品販売からお求めください。(取扱部品に限られておりますが、ご了承ください。)
- ②販売店……ピーコック製品を取扱っている販売店でお取り寄せください。
- ③お客様相談窓口……お電話もしくはFAXにてお申込みください。

部品名
APA(-R)型 ★ せんユニット(せん、せんパッキン・飲み口・ストロー)
APA(-R)型 ★ ストローセット(飲み口・ストロー)
APA(-R)型 せんパッキン
APA-R型 ★ 底カバー

※各消耗部品については、各部のなまえの項目をご覧ください。
★本体容量によって部品のサイズが異なります。

ホームページアドレス <https://www.the-peacock.co.jp>

お客様相談窓口 0570-094891

- 受付時間 9:00~12:00 13:00~17:00
月曜日~金曜日(祝日・弊社休業日を除く)
- ナビダイヤルがご利用いただけない場合はこちらへ
06-6453-9489
- FAXでのお問い合わせ FAX番号 06-6453-9589
製品の型名(品番)・お問い合わせ内容と、お客様のお名前・ご住所・電話番号・FAX番号を記入のうえ、FAXでお問い合わせください。



ピーコック魔法瓶工業株式会社

本社 〒553-0002 大阪市福島区鶯洲5丁目12番20号

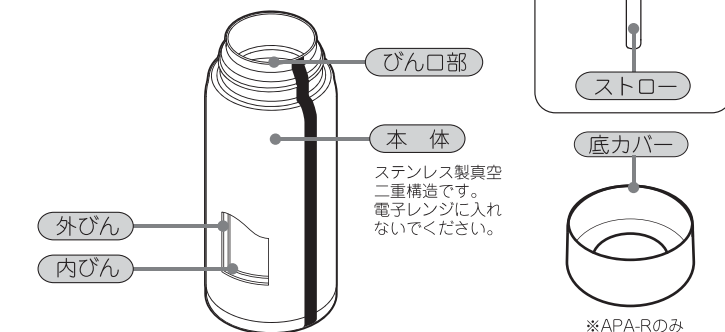
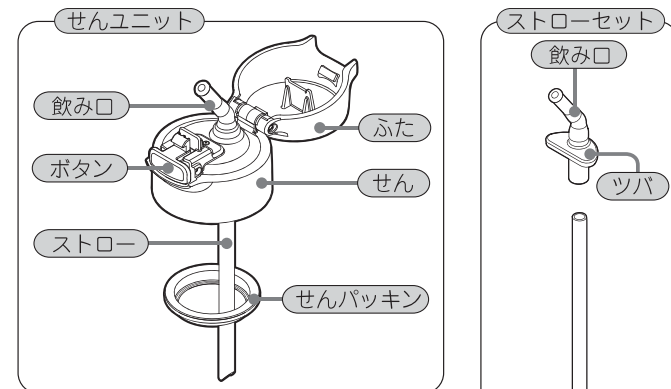
Peacock 保冷専用

ステンレスボトル APA・APA-R ストロータイプ

取扱説明書

このたびは、ピーコックストローボトルをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。ご使用前にこの説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

各部のなまえ



※APA-Rのみ
説明書中のイラストは、実際のものとは異なる場合があります。

後々のため、この説明書を大切に保管してください。①

安全上のご注意

もれやあふれは他のものを汚す原因となります。

飲みものの保冷以外に使用しない

乳幼児の手の届くところには置かない。またいたずらに注意する。



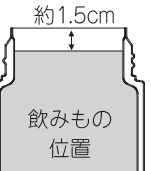
けがなど危険。

熱い飲みものは絶対に入れない。



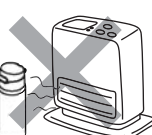
やけどのおそれ。

飲みものの量は図の位置までにする。



入れすぎると、もれ・あふれのおそれ。

ストーブやコンロなど火のそばに近づけない。



変形・変色の原因。

倒したり、落としたりぶつけたり、強い衝撃を与えない。



破損・保冷効果の低下・サビ・塗装はがれ・飲みものもれの原因。

製品の横置きは避ける。



もれるおそれ。

絶対に入れない

●ドライアイス・炭酸飲料など

本体内の圧力が上がり、せんユニットがあがなかったり、飲みものが吹き出たり、部品が破損してけがなどのおそれ。

●みそ汁やスープなど、塩分を含んだもの

サビ・保冷効果の低下の原因。

●牛乳・乳飲料・果汁など

腐敗・変質・サビの原因。そのまま長く放置した場合、腐敗・変質によりガスが発生して、本体内の圧力が上がり、飲みものが吹き出たり、部品が破損してけがなどのおそれ。



●果肉・お茶の葉など もれなど故障の原因。

●飲みものを入れた場合は、使用後、すぐにお手入れをする。
外出時など十分なお手入れができないときでも、すぐに本体内側をよく水ですすぐ。帰宅後に、十分お手入れをする。カビの発生・サビ・穴あきなど故障の原因。

●飲みものを入れた状態で長く放置しない。腐敗・変質の原因。

●本体の底に貼ってある保護シールは、絶対にはがさない。
はがすと、保冷効力が低下するおそれ。

●大きな氷を入れる場合は、押し込まず小さくして入れる。また、アイスピックなど先のとがったもので突かない。傷・もれ・変形など故障の原因。

●せんユニットは確実にしめ、本体を傾けたりして飲みものもれしないことを確認する。確実にしめないと、もれるおそれ。

●せんパッキン・飲み口・ストローは必ずつけた状態で使用する。
もれ・衣服などを汚す原因。

●せんユニットを持って運ばない。

●せんユニットを取りつけるときはストロー内に飲みものを残さない。
本体に飲みものが入っている状態でせんユニットを取りはずすと、ストロー内に飲みものが残ることがある。そのまま取りつけるとふたを開けたときに飲み口から飲みものが吹き出て、ものを汚すおそれ。

●飲み口・ストローをつけた状態でお手入れしない。
ストロー内に残った洗浄液などが使用時に飲み口から出て、ものを汚したり、洗浄液を飲んで体調不良になるおそれ。

●飲み口を噛み切らない。誤飲・窒息の原因。またはもれてものを汚すおそれ。

●バッグなどに入れるときは、本体を縦に置く。万一のもれを防ぐため、必ず縦に置く。

●パソコン・携帯電話・デジタルカメラ等の精密機械と一緒に持ち運ばない。万一飲みものもれがあった場合、精密機械の破損の原因。

●自動車運転中は使用しない。

車内や衣服を汚す原因。運転者の場合、運転への注意が散漫となり危険。

●改造や分解修理はしない。故障や事故の原因。

●冷凍庫に入れない。もれなど故障の原因。

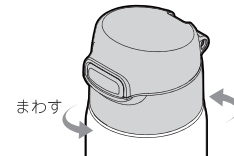
●底カバーを持って逆さにしない。※APA-Rのみ

ご使用方法

ご使用前にせんユニット・内びんを洗ってからご使用ください。

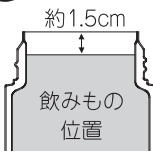
1 せんユニットをはずす

本体からせんユニットを矢印の方向にまわしてはずす。



2 冷たい飲みものを入れる

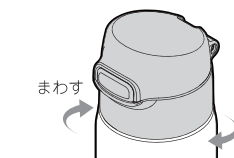
冷たい飲みものを入れ、せんユニットを確実にしめる。
※あらかじめ少量の冷水を入れ、1分程度予冷するとより効果的です。
※飲みものの量は図の位置までにする。



飲みものを入れすぎてせんユニットをしめると、飲みものが吹き出した後からもれ出すことがあります。飲みものを入れすぎた場合は、少量の飲みものを捨ててから、元どおりせんユニットをしめてください。

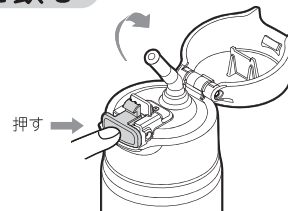
3 せんユニットをしめる

ふたをしめた状態で、せんユニットを矢印の方向にまわしてしめる。
せんユニットをしめる際、ストロー内に水分が残っていないことを確認する。
※ふたを開けたときに、飲み口の先端から飲みものが出てくる場合がある。



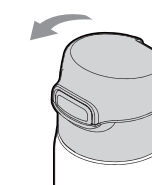
4 ふたをあけて飲みものを飲む

①製品を立てた状態で、ボタンを押してふたをあける。



5 飲み終わったら

飲み終わったら、製品を立てた状態でふたをカチッと音がするまで確実にしめる。



お手入れ方法

- ◆ご使用後は、必ずその日のうちにお手入れする。
- ◆お手入れをするときは、やわらかいスポンジ以外は使用しない。
- ◆においを防ぐため、こまめにお手入れをする。

●本体外側・せんユニット

本体、せんユニットをぬるま湯か水で丸洗いし、すぐに乾いた布で水分をふきとる。※つけ洗いはしない。

●本体内側

柄のついたスポンジブラシなどできれいに内面を洗い、十分に乾燥させる。

●パッキン・飲み口・ストロー

パッキンをせんから取りはずし、ぬるま湯か水で丸洗いし、乾いた布で水分をふき取る。その後「せんパッキンの取りつけ方」を参考にして、せんに確実に取りつける。
(パッキン表面にゴミなど付着していると、水もれの原因)
飲み口・ストローはストロー専用ブラシできれいに洗った後、内側を十分に洗い流し、乾燥させる。
その後「飲み口・ストローの取りつけ方」を参考にして、せんに確実に取りつける。

●底カバー ※APA-Rのみ

底カバーを本体から取りはずし、ぬるま湯か水で丸洗いし、十分に乾燥させてから「底カバーの取りつけ方」を参考にして取りつける。
※つけ洗いはしない。

お手入れ方法

つづき

お手入れ上の注意

お手入れ前によくお読みのうえ、必ずお守りください。

- 塩素系漂白剤は使用しない。サビ・穴あきなど故障の原因。
- 本体外側は、漂白剤を使用しない。
- 本体内側に酸素系漂白剤を使用する際は、せんユニットを取りつけない。本体の内圧が上がり、せんユニットが飛び出すなど危険。
- シンナー・ベンジン・金属たわし・たわし・みがき粉・クレンザー・化学ぞうきん・台所用以外の洗剤などは使用しない。傷・サビなど故障の原因。
- 本体・せんユニットの煮沸および食器洗浄機、食器乾燥機などの使用はしない。傷・サビ・変形・もれなど故障の原因。
- 本体は丸洗いでできますが、つけ洗い(水中に放置)はしない。
- 本体を丸洗いした後は、必ず水分をふき取る。ふき取らないと、水滴のあとが残ったり、サビや他のものを汚す原因。
- 長時間ご使用にならないときは、よくお手入れをして汚れを落とし、十分乾燥させて高温多湿を避けて保管する。

赤サビ状の斑点や水アカなどのお手入れ

使用中、水質や不純物などにより本体内側に「赤サビ状の斑点」が出たり「水アカ」が付着することがあります。このような場合は、以下の手順でお手入れしてください。

- ① 定水量の熱湯にクエン酸を約10g加える。
- ② 約3時間後に柄のついたスポンジブラシなどで内面を洗い、水で十分にすすぐ。
- ③ 十分に乾燥させる。

- ご使用前、およびお茶や糖分を含んだものなど、水以外のものを入れてご使用になった場合には、十分にお手入れをしてください。においを防ぎ清潔にご使用いただけます。
- 他のものと一緒にお手入れするときは、製品に傷がつかないようにご注意ください。